

ネオーラルを服用される患者さんのために

ネオーラル 血中濃度 モニタリングの^{はなし}

この冊子では、ネオーラルの服用中に、
なぜ定期的な血中濃度モニタリングが
必要なのかを簡単にまとめました。



1

**ネオーラルは、
自己の免疫反応を
調整する薬剤です。**

ネオーラル(有効成分:シクロスポリン)は、ノバルティス ファーマ社(スイス)で開発された免疫抑制剤という薬です。

ネオーラルは、臓器移植後に起こる拒絶反応を抑えたり、皮膚の乾癬、腎臓のネフローゼ症候群、血液の再生不良性貧血、神経の重症筋無力症などの自己免疫疾患と呼ばれている病気にも用いられています。このような免疫抑制作用をもつネオーラルは、国内および海外において多くの患者さんに使用されています。



2

ネオールを適切に
使用するため、血液中に
含まれる有効成分の量を
定期的に調べます。

ネオールの治療効果を最大限に発揮させ、かつ副作用を最小限に抑えるためには、患者さんひとりひとりに最も適した服用量を決めなければなりません。

ネオールを服用すると、有効成分が消化管で吸収され、血液中に入ることによって効果を発揮します。そのため、ネオールの服用量が適切かどうかを判断するために採血を行って、有効成分の血中濃度(血液中に含まれるシクロスポリンの量)を測定します。

このような採血を定期的に行い、血液中における有効成分量の変動を調べることを血中濃度モニタリングといいます。

定期的な採血による
血中濃度モニタリングが大切



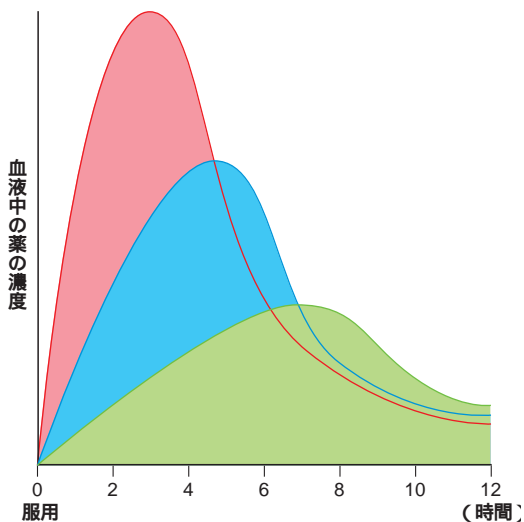
シクロスポリンは
血液中に入って効果を発揮

3

薬の血中濃度は、
病気の状態・食事・年齢
などに影響されます。

薬は体内でさまざまな影響を受けるため、同じ量の有効成分が含まれる薬を服用しても、患者さんごとに血中濃度が異なります。

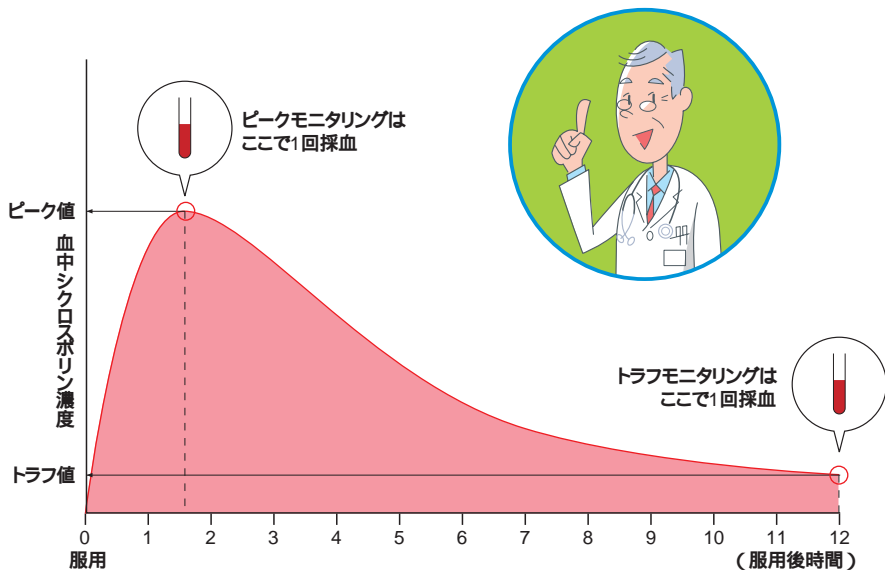
血中濃度に影響を及ぼす因子として、糖尿病などの疾患、食事、患者さんの年齢、肝臓のはたらき、一緒に飲んでいる薬などが知られています。



4

ネオーラルは、
血中濃度モニタリングが
必要な薬剤です。

したがって免疫抑制剤、抗てんかん薬、抗不整脈薬、抗生物質などの一部薬剤では、血中濃度モニタリングを行います。この血中濃度モニタリングでは、患者さんの血液中にどれくらいの量の有効成分が入っているのかをみるために採血を行います。その採血タイミングとしては、ピーク・トラフなどいくつか考えられますが、通常はトラフの血中濃度モニタリングを行います。トラフとは、有効成分の血中濃度が最も低くなった時点のことをいいます。ネオーラルでは、服用する直前(前回の服用から約12時間後)に採血し、有効成分がどれくらい体内に残っているのかを測定します。



5

ネオーラルでは、血中濃度モニタリングの測定値に基づいて、適切な治療を行うことが大切です。

ネオーラルは独自の製剤技術によって、安定した血中濃度が得られるように工夫された薬剤です。ネオーラルでは、その有効成分であるシクロスポリンが、顕微鏡を使わないと見えにくいぐらいの非常に細かい粒子として分散しています。この粒子は、食事の影響をあまりうけずに速やかに吸収されることを目的として設計されました。

さらにネオーラルでは、より適切な治療を患者さんひとりひとりを行うために、血中濃度モニタリングの測定値に基づいて服用量の調節を行うことが大切です。

ネオーラルには、以前から発売されているサンディミュンと有効成分であるシクロスポリンは同じ量が含まれていますが、添加物や製造工程を工夫することで有効成分の消化管からの吸収を改善させた製剤です。ネオーラルとサンディミュンでは、同じ有効成分量を服用しても血中濃度が異なる場合があるので注意が必要です。



6

ネオーラル使用上の注意

次のような人は使う前に主治医に相談して下さい。

- ・以前に薬を飲んで、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことのある人
- ・最近予防接種を受けた、または受ける予定がある人
- ・ほかに薬を使っている人(薬局で買った薬も含む)
- ・妊娠または授乳中の人

生活上の注意

- ・この薬を飲んでいると、免疫がおさえられて感染しやすくなるおそれがあります。まめに手を洗ったり、うがい、歯みがきをして清潔なところがけてください。
- ・グレープフルーツジュースと一緒に飲むと、この薬の作用が強くなるということが知られていますので避けてください。



7

ネオラルを服用する
うえで守らなければ
ならない大切なこと。

1. 血中濃度は採血時間に影響されます。
指定された服用時間と採血時間を守りましょう。
2. 血中濃度は薬の製剤や食事に大きく影響されます。
主治医の指示に必ず従ってください。

快適な生活をおくるために

処方された薬は、主治医の指示通り服用してください。

- ・ネオラルを飲み忘れてしまったり、あるいは間違えて多く服用してしまった場合は、主治医または薬剤師に相談してください。
- ・尿量が少ない、むくみ、疲れやすいなど体調の変化を感じた時は、主治医または薬剤師に相談して下さい。

ネオラルの適切な治療を行うため、
定期的に血中濃度モニタリングを行うことが大切です。
血中濃度モニタリングは、主治医の指示通り定期的に受けましょう。

主治医の指示を
守りましょう

あなたの健康を守るのは、あなた自身です。

- ・自己判断でネオラルを調節または変更しないようにしましょう。
- ・ネオラルの保管は、直射日光、高湿度、高温になるところを避けてください。

